

参加学校（顧問・生徒）への連絡事項

- 健康状態申告書（団体用または個人用）の提出
- 体温 37.5℃以上の発熱、咳・咽頭痛などの症状がある場合は参加しない。
- 原則、マスク着用する（競技中、アップ・ダウン中以外）。
- 咳エチケット（咳をする場合はマスク着用、ハンカチや袖口で口を覆う）
- 三つの密を避ける対策をとる。
 - ・「密閉」空間にしないよう、こまめに換気する。
 - ・「密集」しないよう人と人との距離をとる。
 - ・「密接」した会話や発生は避ける。
- こまめな手洗い、アルコール消毒

1 大会当日の動き

◆第1駐車場～第3駐車場、第4駐車場（学校バス）を利用する。

- ・6:30 高体連常任委員事務局員集合・受付 →「健康状態申告書」提出でIDカード配付
- ・7:00 役員審判員受付（会議室2外側） →「健康状態申告書」提出でIDカード配付
- ・7:00～学校（選手）受付（庶務室前）

○各顧問が生徒の体温・体調を確認し「健康状態申告書」（団体用または個人用）を提出

○参加費 （釣り銭のないように）。金額は別紙参照）

○参加申込書（公印）の提出。

- ・7:10 開門（補助競技場、メイン第1ゲート、第2ゲート）
- ・7:20 セッティング（補助員） ※セッティング補助員はIDカード携帯する。
- ・7:40 主任打ち合わせ（会議室1）
- ・8:00 審判全体打ち合わせ（正面本部席前）、各部所打ち合わせ（各部所）
- ・9:00 競技開始

2 大会運営・競技運営について

（1）大会全般の確認・注意事項

○役員審判受付・学校受付等

- ・庶務室前：学校受付
- ・会議室2外側：役員審判受付、来賓受付、報道受付、その他

○IDカード規制

【役員審判・選手】：当日、受付で配付

- ・IDカードは健康状態申告書が提出されている者のみに配付するものであり、他人（OBや友人等）への譲渡、生徒同士の使い回しは絶対にしない（IDカードは健康状態が良好である証も兼ねているため）。

- ・IDカードが無い場合は、一切、競技場・補助競技場内へ入ることはできない。

- ・IDカードを紛失しても再発行はしない。

・ケースは配布しません。各自で用意するか、代替大会のものを再利用する（必ず首から下げられるよう工夫する）。手持ちはしないように（IDの紛失防止）。

○競技場への出入口

【当日朝】

- ・正面玄関（役員審判、セッティング補助員）
- ・会議室2外側扉（役員審判、セッティング補助員）

【競技中】※正面玄関は閉鎖

- ・会議室2外側扉から出入口（役員審判、競技補助員、報道等）
- ・第1ゲート：選手の入退場
- ・第2ゲート：選手の退場、各学校待機場所への入退場

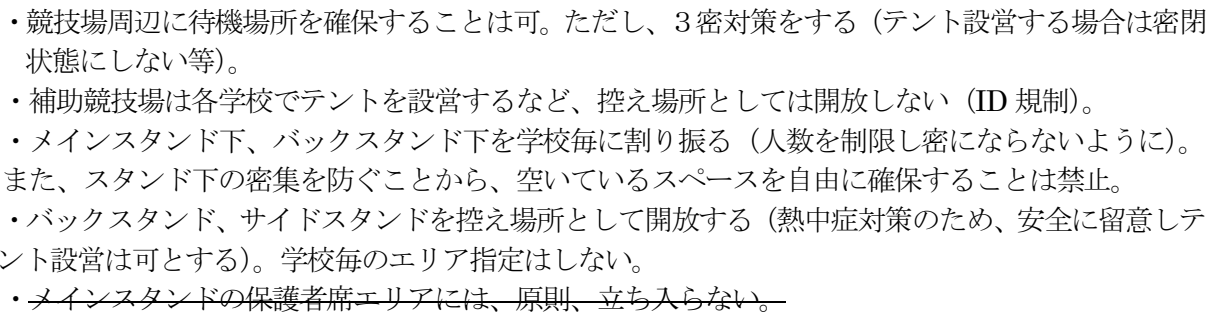
- ・ID カード以外に腕章を必ず着用

- ## ○横断幕について

- ## ○生徒のコーチングについて

○補助競技場での練習について

○競技場のレイアウト（ゲート、審判控室等）



- ### ○雨天走路

○表彰は実施しない・・・賞状は、会議室2に準備する。帰りに顧問が持ち帰る。

○ゴミは各学校で持ち帰る。

(2) 競技に関する注意事項

○競技場内の導線

- ・400m800m の際、スタート付近が密集するので、フィニッシュした選手は、荷物を持って速やかに第2ゲートより退場する（着替え等は競技場外で行う）。

○靴底の厚さ（厚底シューズ）について

ワールドアスレティックス（WA）シューズ改訂規則を適用せず、**競技での使用を認める。ただし、招集所で検査を行い、規定外シューズの使用者はその旨をリザルトに明記する。**

- 招集所：第1ゲート内側に設置。招集については通常どおり（現地招集はしない）。
- 欠場届・変更届・同時出場届・リレーオーダー用紙等は招集所で受け取る（提出場所：招集所）
- 腰ナンバーカードはレース後、各自で取り外し、回収BOXに入れる（補助員は取り外さない）。
- 給水はペットボトルの水を、紙コップで提供する（3000m 5000m 3000SC 5000mW）。
- 競技に使用する消耗品（炭酸マグネシウム等）の共用は禁止。炭酸マグネシウムは個人所有のもの、または必要な場合は審判から必要量を手渡す（審判は手渡す際、ゴム手袋を使用すること）。
- 競技前後には流水・石鹸などで手洗い、またはアルコール消毒を必ず行う（特に投てき等、用具を共用する場合）

3 感染症及び熱中症対策について

以下の項目について各学校で遵守するようお願いします。

（1）感染症対策

- その日参加する生徒全員（選手、補助員、マネージャー、応援部員）の健康状態申告書（高体連団体用）を必ず提出する。
- 顧問は、当日提出する健康状態申告書の他に、参加者名簿（氏名、性別、年齢、住所等を記載）を作成・保管し、要請があった際にはすぐ提出できるよう準備しておく。
- 大会当日、体温 37.5℃以上の発熱、咳・咽頭痛などの症状がある場合は参加しない。
- タオルやボトルの共用はしない（マイタオル、マイボトルを持参）
- 競技前後には石鹸等でしっかり手洗い、またはアルコール等で手指の消毒を徹底する（器具等を共用するため）。
- 競技中、アップ・ダウン中以外は原則、マスクを着用する（**特に待機場所でのマスクの着用を徹底**）。
- 大会中、大きな声で会話、応援等はしない。
- 飲食（特に昼食）する際は、密集した状態では飲食しない（同方向を向いて飲食する）。
- 待機場所としてテント等を使用する場合は、密閉空間とならないよう十分な換気を行う。
- 大会前後のミーティングは三つの密を避け、必要最低限・短時間で行う（集合写真、肩を組んでの円陣、声出し等はしない）。
- 大会中、発熱等の症状を訴える生徒が出た場合、保護者の迎えを依頼し、本部へ至急知らせる。
- 大会後、新型コロナウイルスの感染が確認された場合、所属する学校や行政機関の指示に従い対応し、顧問から高体連専門部へ至急連絡する。